

練馬区子ども読書活動推進会議(第10期第五回)要録

日時：令和3年9月17日（金） 午後3時30分から5時まで

場所：オンライン

●参加者

○委員（敬称略）

林、木村、工藤、橋爪、境野、荒井（友）、慶野、荒井（雪）、乾、立花

○事務局

清水光が丘図書館長、松田子供事業統括係長、同係 渡邊主事、吉住主事

●議事等

○第四次練馬区子ども読書活動推進計画 令和2年度各所管取組状況について

○第四次練馬区子ども読書活動推進計画 主要計画指標の達成状況について

●配付資料

資料1 令和2年度「第四次練馬区子ども読書活動推進計画」取組実施状況①

資料2 令和2年度「第四次練馬区子ども読書活動推進計画」取組実施状況②

資料3 令和2年度「第四次練馬区子ども読書活動推進計画」主要指標実績

●会議要録

○事務局

ただ今より、第10期の第五回練馬区子ども読書活動推進会議を開催させていただきます。事務局の光が丘図書館長の清水です。よろしくお願いたします。開会に先立ちまして、本日の欠席委員は埜委員、生田委員、大山委員です。傍聴についてはWeb会議のため、実施しておりません。

また、事務局の人事異動により交代がありましたので、職員の自己紹介をいたします。

（事務局職員自己紹介）

○事務局

（資料確認）

それでは、座長、今日の会議の進行をよろしくお願いたします。

○座長

本日は、ご多忙の中、お集まりいただきありがとうございます。

ただ今より、第10期第五回 練馬区子ども読書活動推進会議を開催させていただきます。

なお、今回をもちまして、第10期の会議は終了しますので、本日の会議の最後に、委員の皆様からそれぞれご挨拶をいただければと存じます。

早速ですが、次第に沿って議事を進めたいと思います。まず、事務局より議題についてのご説明をお願いします。

○事務局

議題の1 第四次練馬区子ども読書活動推進計画 令和2年度各所管取組状況については、資料1 令和2年度「第四次練馬区子ども読書活動推進計画」取組実施状況①と資料2 令和2年度「第四次練馬区子ども読書活動推進計画」取組実施状況②によりご説明させていただきます。まず、資料1をご覧ください。

(事務局説明)

続きまして、資料2をご覧ください。

(事務局説明)

○座長

ありがとうございました。ご質問やご意見があれば、いただきたいと思います。

○委員

詳細な説明でわかりやすかったですが、個別の説明でしたので、まとめたこととて言うと、令和2年度はどのような振り返りをされているのでしょうか。

○事務局

令和2年度は元年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の拡大があり、これに伴って図書館の臨時休館、サービスの制限がありまして事業等を実施することが難しい時期でございました。そのために各種実績が後退するという結果になりました。今後の課題は、感染予防対策を取りながら事業継続を進めて行くための方策だと考えております。

本来でしたら、第四次の計画ができて、新たな計画をスタートする年だったので新しい取り組みなども計画していましたが、全く想像もしなかったコロナウイルスの発生ということで、その中で学校等と連携しながら粛々と図書館サービスを進めて参りました。1年の中で、Zoom会議やリモートでの講習会の実施などの手応えもありましたので、今後もそれを生かし、コロナと付き合いながらの読書活動を展開して行かなければと考えております。

○委員

全体としては非常に厳しいコロナの状況下で、何とか来年度以降の取り組みに向けてスタートできたという評価とあってよろしいですか。

○事務局

なかなか評価するまでは行かないですが、昨年度は4月5月と図書館を休館し、学校も休みになるという不測の事態がございまして、その時のことを検証しながら、できることをコツコツとやって行くということを引き続き行いたいと思っております。

○委員

はい、ありがとうございます。

○座長

他にご意見等ございますでしょうか。

○委員

まずは読書活動について各課から支援をいただいていることに感謝したいと思いますし、他の委員の皆さんにもそのことはご報告しておきたいと思えます。その上であえて申し上げるのですが、今回各課の取組状況を出していただきました。委員が先ほどおっしゃられたように、コロナの厳しい状況ということは全ての委員がわかっている中で、総体としてはどうだったのかというご質問に私も同感です。だとすれば、できれば取組状況の中に、コロナの影響をどの程度受けたかという指標があると良かったのかなと思います。また、このコロナの感染が、ある日スパッと終わるわけではないと思っています。だとすれば、例えば2年後、3年後に向けて元の水準まで比較的戻しやすいのか、あるいは戻すことが難しいのか。その難しいということではなく、例えば人材育成研修の段階が数年間止まってしまって難しいとかいった部分が取組状況や達成状況の中で見えてくると私達も理解しやすかったかと思えますし、今回の第10期から11期の方々に引き継ぐ際にもスムーズだったのかなと思っております。取組状況は毎年作成するものだと思うので、今後ご配慮いただけると良いのかな、と思えます。

○座長

ありがとうございました。事務局補足等ございますでしょうか。

○事務局

ご意見いろいろありがとうございました。

確かに子ども読書活動推進計画だけでなく、教育委員会全体の取組についても今年新たにコロナによる影響を指標に入れて行くという考え方が出て来ていますので、総括の部分の中でコロナの影響ということも今後の報告書に生かしていけたらと考えております。今回の指標は資料そのものを第四次計画に合わせて作り変えたところがございます。コロナの影響について入れることを失念しておりましたので、伺ったご意見も踏まえまして次回の総括に生かして行きたいと思っております。

○座長

ありがとうございました。他にご意見ご質問等ありますでしょうか。よろしいということでしたら、続きまして議題の2に移ります。第四次練馬区子ども読書活動推進計画主要計画指標の達成状況について、事務局からご説明をお願いいたします。

○事務局

第四次練馬区子ども読書活動推進計画主要計画指標の達成状況についてご説明します。資料3 令和2年度「第四次練馬区子ども読書活動推進計画」主要指標実績をご覧ください。

(事務局説明)

「目標一 乳幼児の読書活動の推進」主要目標がブックスタート事業の参加率ですが、令和2年度は目標値が80%に対し57%でした。区立図書館による乳幼児への貸出冊数は472,536冊でした。おはなし会の実施回数は652回、参加者は6,731人でした。目標二につきまして、小学生・中学生の読書率の調査は2年に1度のため2年度はございませんでしたが、元年度については97.6%と91.3%でした。指導計画作成割合調査も2年に1度で2年度はございませんでした。元年度は小学校78.5%、中学校66.7%でした。令和2年度学校図書館蔵書管理システムの導入が終わりましたので、システムにより貸出冊数の統計が出るのが3年度以降になります。団体貸出冊数は118,228冊、探検ラリーは学校も休みがありましたので17校となっています。小学生への貸出冊数は654,645冊、中学生への貸出冊数は116,578冊、目標三の高校年代への貸出冊数は67,057冊、目標四の支援を必要とする子供たちへの読書活動の推進につきまして、障害等に配慮した資料の点数は22,198点、特別支援学校等への貸出は1,215冊でした。目標五の読書活動推進の基盤づくりの区立図書館におけるボランティアの活動回数は1,038回、活動人数は4,497人でした。

総括としては、コロナの関係で学校が休校であったり事業自体が実施できなかつたりした影響で実施回数が減り、元年度に比べてパーセンテージや回数が減っているものがあります。ただ、7番の学校等への団体貸出が増えており、冊数につきましては、前年度に比べて総数は118,228冊ということで減っていますが、休校が2か月半あった時期

を除くと、増えています。

○座長

第四次練馬区子ども読書活動推進計画主要計画指標の達成状況について委員の皆様のご意見をお聞かせいただければと思います。

○委員

資料説明の最後に説明いただいたことが、実は非常に重要だと思うんですね。数字だけ見たら非常にダウンに見えるけれども、学校が開いている期間で割り返すと非常に伸びている、例えば前年度の同じ時期に比べてこんなに伸びているというようなことがわかる指標があると、第四次の子供読書活動はコロナ禍でもここまで頑張っているということが伝わるかと、この数字だけだと非常に勿体ないと思います。図書館が開館している期間が例年より少なかった分かなり良い数字なのが、伝わっていないのが勿体ないと思いますので、何とか比較できる数字を出していただければと感じます。

○座長

ありがとうございました。確かに委員のおっしゃるとおり休館日の比率をウエイトにした統計を次に向けて工夫することで実態が見やすくなるかも知れないと思います。

○事務局

ありがとうございます。図書館の実態を見える化するのが難しく感じています。経年の指標を取っていますので従来の指標は様式としては必要ですが、いただいたご意見を参考にしながらコロナ禍の期間の指標がわかるようなものを工夫してまいります。

○委員

コロナ禍の中で頑張っているという姿が明らかになる指標があれば子供読書活動推進にとって非常に参考になりますのでぜひ工夫をお願いします。

○委員

学校は3月から臨時休校になり、6月から分散登校という形で始まりましたが、1学期は図書活動が厳しい状況がありましたが、図書室に入る前に手を洗い、本を読んだ後は手を洗い、授業で多くの人が使う本も事前に手を洗って授業後にも手を洗うという対策を取った形で団体貸出が増えて、前年度比22%減ぐらいですが、実質

2学期と3学期だけでこれだけの数値が出て来たというのはかなり価値があったというか、関係者の皆様が頑張って、学校が何だったらできるのか考え色々なことをやって来た結果なのではないかと思います。

○座長

事務局何かございますでしょうか。

○事務局

今委員がおっしゃられたように、図書館は開館していても良いのだろうか、本は貸出しても良いのだろうかというところから、試行錯誤してきた1年でした。ですが、結果として皆さんから本が求められているということに寄与できたという実感はありますので、それを見える化したような指標を出して評価できるように工夫して行きたいと思います。ありがとうございます。

○座長

どうもありがとうございました。他にご意見等ございますでしょうか。

統計の数字で出せないものは、コロナ禍だからこそであった本当の喜びの声を拾って紹介するというような、質的な成果の紹介方法も効果的なのではないかと思えます。

それでは、議題3 その他に進めさせていただきます。

立花委員からのご報告ということでお願いしてよろしいですか。

○委員

ご報告ですが、以前のこの会議で『ねりこそ@なび』を使って本の情報発信をしたら良いのではないかというご意見が他の委員の方からありました。『ねりこそ@なび』というサイトは練馬区が補助しているねりま子育てネットワークが運営しているサイトなのですが、10月からこのサイトに私が主宰している『東京子どもと本をつなぐ会』が担当する『今月の推しの一冊』というコーナーができます。最初は予告編ということで、1冊だけのご紹介です。11月からは、毎月各年代向けに乳児向け、幼児から小学校低学年向け、小学校中学年以上大人向けに1冊ずつご紹介していこうと思っております。よろしければ、練馬区のホームページにもリンクを貼らせていただいて、毎回3冊だけですので練馬区立図書館のこども向けの本の紹介ページに入っているようにリンクさせていただければと思います。この子ども読書活動推進会議の議事録を拝読して前向きなお話だったので始めたことなので、ぜひこの会議にご報告したいと思ひまして。お時間を取らせていただきました。

また、私は出版文化産業振興財団 J P I C 読書アドバイザーをさせていただいてお

りまして、そのアドバイザークラブで新しい賞を昨年から創設しています。今年の3月に第2回『親子で読んでほしい絵本大賞』を発表しまして、マスコミでも取り上げられて、5月の上野の森ブックフェスタではオンラインライブ配信でブックトークもいたしました。この大賞での受賞作品が本屋さんにも展示紹介されています。前年度400冊の中から選ばれた受賞作の12冊ですので、受賞作品を検索してみてください、ぜひ学校図書館や区立図書館のご購入にもご活用をお願いしたいと思います。

○座長

ありがとうございました。すばらしい取り組みだと思います。
皆さん他にございますでしょうか。

○委員

昨年度、読書率の調査がなかったのもしあれば、小学生の読書率が上がっていた数字が出ていたのかな、と思います。団体貸出など、図書館の貸し出し数は多いので、調査がない年でちょっと残念でした。学校図書館の貸出冊数もまだシステム導入直後で出ていないのですが、開放図書館の仕事をしていると、とても多いと実感しています。その集計が出ていないのが残念です。

○座長

ありがとうございます。事務局から何かございますか。

○事務局

ありがとうございます。読書率調査は今年度実施がありますので、今後資料に反映していければと思っています。学校図書館蔵書管理システムに関しましては、やっと統計が取れるようになりました。区の子供たちがどんな風に本を読んでいるかを小学校と中学校で把握できるのは大きいことだと思っていますので、ぜひ今後の指標にしていきたいと思っています。

○委員

文庫連の立場からお伝えしたいことがあります。資料1の8ページの『障害等に配慮した資料の充実』LL資料の収集というところで、LLブックが46点所蔵されると書いてあります。文庫連の中に障害のある方たちのための文庫を開いている方がいらっしゃいまして、その方から図書館に伝えて欲しいと言われたことがあります。それは、LLブックのコーナーをわかりやすくして欲しいということです。図書館に行ったら普通に本棚に入っていてわからなかった、ということがあったのだと思います。LLブックを借りたい読みたいと思っている人たちのためにわかりやすい配置や

ディスプレイの工夫を図書館にお願いして欲しいと言われました。それと、知的障害の子どもたちだけではなく、知的障害があって大人になった方たちにとっても絵本はとても大事なのだそうです。絵本は子供のためのものと位置づけられているかも知れないけど、知的ハンディのある大人も大事に思っているということを、図書館の仕事をされている方たちに、よりお伝えして欲しいとたのまれました。読書バリアフリー法ができましたし、いろいろな生活環境にいる方々がより図書館が使えるような取り組みもこの会議の中のお話合いの中に入れていただけたらなと思っております。

○座長

ありがとうございます。事務局から何かコメントございますでしょうか。

○事務局

委員がおっしゃったように障害者に対する、また読書が苦手な方、日本語に長けていらっしやらない方など色々な方が図書館を使われます。LLブックのお話がありましたが、リンゴの棚と言って読み書きが苦手なお子様や障害があるお子様向けのコーナーを作っている図書館もあり、わかりやすい、手に取って見やすい配置などに努めて行きたいと思っております。もう一点、絵本が子供だけではなく大人にも利用されるということは私どもも承知しておりますが光が丘図書館には高齢者や認知症の方のためのコーナーでオレンジコーナーというものを設置しておりますが、紙芝居の貸出が多いです。やはり本というものは、図書館側が年齢や使用範囲を決めて活動するのではなく、年齢や環境や国籍や性別に関係なく読みたいものを手に取れることが大事だと考えますので、そのために努めていきたいと思っておりますし、またこの会議は子どもの読書活動の会議ではございますが、子どもが大きくなって行く先も考えながらの話ができればと良いと考えておりますので、引き続きよろしくお願いたします。

○座長

ありがとうございます。他に何かご意見ご質問ご報告などの共有はございますでしょうか。よろしいでしょうか。では本日の議題は以上になります。なお、本日の会議要録は事務局が取りまとめ次第、各委員にご確認いただいた上で、練馬区ホームページ等で公開いたしますが、この手順でよろしいでしょうか。（異議なし）

ありがとうございます。最後に事務局から連絡事項等をお願いいたします。

○事務局

ありがとうございました。

現在ご参加いただいております第10期練馬区子ども読書活動推進会議は、令和3年10月に委嘱期間を満了いたします。第10期の推進会議の開催は今回で最後となります。

す。子供読書活動の推進について、委員の皆様から貴重なご意見をいただきまして本当にありがとうございました。つきましては、第10期の最後に委員の皆様からご挨拶を頂戴できればと存じます。

○委員

この会議に参加し始めて会議の中で今まで知らなかった色々な情報をいただきまして、勉強させていただいたと感じました。ありがとうございました。

○委員

学校関係者としても練馬区民としても大変有益な情報をいただき、考えることをさせていただいたと思います。またどこかで皆様とお会いできれば嬉しく思います。ありがとうございました。

○委員

私もお二方と同じ思いです。たくさん情報をいただいて私の方が勉強させていただきました。いただいた情報を練馬区立小学校65校の校長・教員に伝えて行ければと思っております。本当にありがとうございました。

○委員

私は一昨年から参加させていただきまして、第四次の計画を何とかキャッチアップしなければと言っている間にコロナ禍に入ってしまったので、会議が開催されなくなるという状況下で、もっと色々なことが勉強できたのではないか、もっと活動できたのではないか、という思いで一杯です。自分の活動ではずっと続けてきた読み聞かせのボランティアもまだ学校には入れない状態ですので、何かコロナ禍の中でできることはないかと思っている中で、先ほど委員からのご報告があったように、コロナ禍の中でもできることがあるということを伺うことができ本当にこの会議に参加できて嬉しかったです。今後ともよろしく願いいたします。

○委員

この4月に前任者から引き継いで5月は書面開催でしたので、皆様のお顔を見るのは初めてとなります。よろしく願いいたします。私どもは私立の学校ですので、区と連携することがあまりなく、また障害を抱えた生徒さんたちが通う学校ですので、図書館を活用することが難しいことがあります。子どもたちは近くの図書館を利用させていただいているのですが、コロナで利用できない時期があつて、学校の中でも本を毎回消毒しなければならなくなるなどで本を読む機会が減っては来ているのですが、本が好きな子どもたちが多いので、今後も図書館を利用していきたいと思っています。

ます。何か皆様のお役に立てることがあればお話できればと思っています。参加させていただきます。ありがとうございます。

○委員

私は9期から4年間公募委員としてお世話になりました。今まで読み聞かせや本の探検ラリー、ブックスタートなどでボランティアをしております。現場で実施を担うボランティアとして、やっていたことが計画の中では、どういう枠組みの中でやっていることなのかということが、この会議に参加して非常に広い目で見られるようになったことがすごく良かったなと思っています。私はもう子供もずいぶん大きくなりましたので、今回でこの会議の委員は卒業させていただきますが、まだどこかでボランティア活動はしていくと思いますので、また機会がありましたら、よろしく願いいたします。ありがとうございます。

○委員

私も息子が18歳になりましたので、そろそろ区民委員としては卒業させていただいて、一つ席を空けて新しい風を入れていただきたいと思います。6年間ありがとうございました。そして、もし専門的なこと、例えばブックスタートの赤ちゃん向けの本のことや、著作権のことなど知りたいという方が居たらぜひお声かけいただいて、今度教育委員会のねりま遊遊スクールでも著作権について講座をさせていただこうかと思ひまして、コロナが収まったらと思って今回は申込みませんでした。ねりこそのネットワークで加盟している団体などもYouTubeを上げているとかなり著作権違反をしていることに気づきました。外国の作家をご紹介する時はすごく慎重にしなければいけないので、学校のボランティアさんの読み聞かせも著作権に気をつけなければいけないのを目撃することがあったり、そういう専門的なことを教えて欲しいとお声かけいただければ子供と本のあるところにいつでも参りますので、この会議でも呼んでいただければ、私も一生懸命毎日勉強してまいりますので、ぜひご協力させてください。子供日本語教室で日本語を母語としない子供たちのための和楽器コンサートなどもやりたいと思っていますので、またご相談させていただきたいと思っています。皆様本当にありがとうございました。

○副座長

私は前任者の後に入りまして日が浅く、皆様に色々教えていただきましてありがとうございました。今委員がおっしゃられましたように私も読み聞かせをやっておりますので、専門家の方たちから見たら危なっかしいことをしていると思われることもあるのではないかと思います。確かに気がつくことも遅い立場の者たちばかりですが、わかった時には立ち止まる力もある人たちも多いので、著作権のことは教えていただ

いて、広く知らしめていただければそれをキャッチしてそこから勉強を始められることもある、そういうお母さんたちも一杯居るということをお知らせしておきたいと思っております。そして私は他の委員と同じように学校開放図書館の指導員の立場ですが、このコロナの中で、学校が閉まるということが私の人生の中で初めてありました。自分が休むことはあっても、学校が休むことはないと思ってきた人生でしたので、本当に驚くことばかりです。その中でも今、図書館開放が元の形に近いように始まっている学校もあれば、その学校の考え方として慎重に、子どもたちを呼び込むのは怖いと思われて開放図書館を閉じている学校もあり、子どもと本をつなぐ活動をしている大人は、今どうやって絵本や本など良いものを子どもたちに届けられるのか試されているのではないかと思います。コロナ禍の時にこの会議に入れていただいたということは、これも勉強だったなと思います。今日リモートということで、皆様にはとてもお世話になりました、本当にありがとうございました。

○副座長

この10期は第四次計画を作るということで、長く大変な時期だったと思いますが、その後半がコロナで最終的なものが充分検討できずに第四次計画ができてしまったことが残念だったと思っています。でも今日もこのように推進計画の主要指標実績を見ると、私はおはなし会やブックスタートやラリーに関わっていますけれども、自分の関わっている部分しか見えませんが、一覧票で見ると全体的な進み具合が分かります。この数字をきちんと分析していくことができると、推進計画は有効に進められると思います。また来期もよろしく願います。皆様いろいろありがとうございました。

○座長

皆様、拙い進行にご協力ご助力いただきまして本当にありがとうございます。本年度も昨年度同様新型コロナウイルスの感染拡大の出口が見えない中、書面で開催があったり、今回のZoomを利用したWeb開催があったり、例年の進め方と大きく異なる形式で継続されて参りました。委員の皆様方、事務局の皆様方、お一人お一人にご協力ご参集、改めてお礼を申し上げます。イベント等後退せざるを得ない状況の中、子どもたちの読書活動に関しては意外と家庭の在宅時間が増えることで、ちょっとプラスの効用もあった感触がある中、家庭環境の差が子どもたちの知的好奇心を刺激する機会の質と量に大きく影響してしまう、負の作用がより強まっている状況です。この会議の役割も引き続き地域社会、更には日本社会にとって大切な使命があることと心得ます。本年度で委員を終わられる方も、継続される方も引き続き、ご協力、フィードバック等をよろしくお願いいたします。皆様どうもありがとうございました。

○事務局

今期で退任される委員の皆様、長い間ご協力いただきありがとうございました。他の委員の皆様もありがとうございました。今回の第10期は今お話しがありましたように、Zoomであったり書面であったり、初めて体験するようなことばかりでしたが、新しい計画を抱えながら皆様と一歩ずつ進めて来られたとっております。これから先のことを皆様と一緒にこうやってお話ができることをとても嬉しく思っております。今回初めてZoom会議を実施いたしまして、意見が出なかったら、コミュニケーションが取れなかったらどうしようなど、Zoomの負の部分を中心に考えておりましたが、皆様積極的に資料を読んで来ていただき、ご意見いただき本当にありがたく思っております。今の子どもたちのために読書活動のために、これからもどうぞよろしくお願いいたします。本当にありがとうございました。

○事務局

第11期の区民委員公募につきましては、今後申込みされた方の審査が行われ、内定された方にご連絡する予定でございます。

第11期の第一回の会議につきましては、令和3年11月中旬に開催する予定です。正式な日程が決まり次第、開催通知を送付させていただきますので、よろしくお願い申し上げます。

それでは、第10期第五回練馬区子ども読書活動推進会議を終了いたします。
皆様ありがとうございました。